

社会貢献活動

1. 学生ボランティア活動

学生団体のボランティア活動で以下のような活動を展開している。

1) ボランティア・まちづくり活動助成(公開審査会&ドネーションパーティー)

ボランティア活動に取り組む学生団体や、まちづくりに携わるゼミ等を応援するために、大学同窓会と共催で活動への助成を実施。2018年6月16日に交換審査会を行い、8団体に対し総額30万円を助成した。さらに、当日卒業生や地域の方々から寄付を募り、総額109,000円の寄付が集まった。

2) 主な学生団体のボランティア活動

■ 聖学院大学ボランティア・アソシエーション：GRACE

学内でキリスト教行事の他、学外でのボランティア奉仕活動を展開。2018年度は全学礼拝(火～金曜日)の運営、児童養護施設や特別養護老人ホームなどでの奉仕活動、地域に根ざしたボランティア活動などを継続的に行っている。

■ 聖学院大学復興支援ボランティアチーム：SAVE

東日本大震災の復興支援を目的に発足。年2～3回岩手県釜石市で実施する「復興支援ボランティアスタディツアー」の企画・運営や学園祭や地域のイベントでの活動報告、募金活動などを実施している。

■ アカペラ部：てくてく

年に数回大学周辺の地域イベントに出演し、歌声を披露している。

■ 児童文化研究科：てふてふ

絵本サロンを定例で実施するほか、夏休みに大学にて「こどもまつり」を実施している。

■ ほたる祭り実行委員会

飼育したホタルを地域の方々に鑑賞していただく「ほたる祭り」の企画・運営を行っている。2018年6月9日に実施。

■ ボラフェス実行委員会

大学学園祭(ヴェリタス祭)2018年11月2日～3日に合わせ、地域の福祉施設を招いての模擬店販売や、児童虐待防止を呼び掛けるオレンジリボンキャンペーンなどを実施。福祉を身近に感じる機会を作るとともに、ボランティア紹介の機会を作った。

2. 地域連携・ボランティア活動

1. 東日本大震災復興支援活動

1) 被災者親子への支援活動等

こども心理学科・金谷京子、児童学科・坂本佳代子(共に教員)及び臨床発達心理士会により、以下のような支援を継続。(2011年～)

所沢に避難している親子への支援・いわき市に避難している双葉町の子どもたちへの支援・南相馬の専門職研修・保護者心理相談

2) 岩手県釜石市を主な拠点とした活動(2018年4月～2019年3月)

2011年12月より岩手県釜石市にて復興支援活動に取り組む。春の「桜プロジェクト」、夏の「よいさっ!プロジェクト」、冬の「サンタプロジェクト」など年間を通じて活動。また、今年度初めての試みとして、陸上競技部有志による「キッズかけっこ教室」を実施。

日程	内容	場所	参加人数
4月21日～22日	ボランティアスタディツアー「桜プロジェクト7」 さいたま市「清香園」協力により盆栽桜の植樹や復興住宅の居住者との交流会を実施。	釜石市鶴住居地区ほか	学生9名、教職員3名
8月3日～6日	ボランティアスタディツアー「よいさっ!プロジェクト5」 「釜石よいさ」の参加、子どもたちを対象とした「かまっこ★あそびーらんど」の実施。聖学院中学校・高等学校、自由の森学園高校の生徒も参加。	岩手県釜石市 宮城県石巻市	学生25名、教職員9名 高校生15名 中学生2名 高校教員3名
9月1日	第1回「キッズかけっこ教室」 社会福祉法人愛泉会かまいしこども園の園児を対象に陸上競技部有志が指導を通して走る楽しさを伝えた。	岩手県釜石市	学生3名、教職員2名
11月30日 ～12月2日	ボランティアスタディツアー「サンタプロジェクト8」 被災地見学、郷土料理づくり、交流会、こどもクリスマス会等を実施。自由の森学園高校の生徒も参加。	釜石市鶴住居地区ほか	学生27名、教職員8名 高校生3名 高校教員1名

3) 宮城県仙台市を拠点とした活動

東北教区被災者支援センター・エマオを拠点に学生中心に子どもの遊び場と農業支援を実施(2015年～)

4) 岩手県下閉伊郡田野畑村を拠点とした活動

陸上競技部有志による保育園や児童館の子どもたちを対象とした「キッズかけっこ教室」を実施(2015年～)

2. 地域連携活動他

2013年4月、地域連携・教育センターが開設し、以降、さいたま市、上尾市、春日部市、埼玉県、岩手県釜石市を中心に地域連携活動を積極的に展開。

日程	内容	場所	人数
2018年 5/13	第11回アートフルゆめまつり 2018 ボランティア参加	平成ひろば	学生5名
5/19、8/25、 11/10、2/9	みんなの健康カフェ@尾山台団地 企画・ボランティア参加	尾山台団地	学生のべ11名
6/16	ボランティア・まちづくり活動助成公開審査会 ・ドネーションパーティ	本学	約50名 (学生・教職員約30名、 地域の方々・卒業生約20名)
7/7、10/27、3/30	金谷京子ゼミ生を中心としたシラコバト団地自治会 ・一般社団法人すくすく広場連携したあそび場の企画・運営	上尾シラコバト団地	学生のべ41名 教員1名
8/4	シラコバト夏祭り	上尾シラコバト住宅	学生7名、職員1名
8/5	「おおきくなったね！×おおきくなったね！」 フェスティバル 2018 ボランティア参加	上尾市文化センター	学生5名
8/26	若竹ホーム 納涼祭	若竹ホーム	学生2名
9/2	第18回元気あっぷフェスタ ボランティア参加	上尾市役所	学生3名
9/30	第38回上尾市ふれあい広場 ボランティアグループによるブース出展	上尾市文化センター・ 上尾公民館	学生8名
10/6	上尾市市制60周年記念式典 ダンス同好会によるパフォーマンス披露	上尾市文化センター	学生24名
10/21	尾山台・原市・瓦葺 多文化交流フェア ボランティア参加	尾山台団地	学生6名
10/28	さいたま KI-TA まつり 2018 模擬店・ボランティア参加	宮原駅ロータリー	学生約40名、他教職員
11/2、3	ボラフェス 2018 (ヴェリタス祭)	本学	学生17名 来場者 約1,500名
11/10、11	あげお産業祭 アカペラ部ステージ・ボランティアグループによるブース出展	上尾市民体育館	学生33名
11/24	上尾消費生活展 ボランティア参加	上尾市コミュニティセンター	学生11名
12/5	「宮原にサンタがやってくる」ボランティア参加	宮原駅東口公園	学生6名
12/9	さいたま国際マラソン大会 陸上競技部による運営補助	さいたま市・越谷市	学生25名
12/15	大谷支所との連携企画「防災講座」を実施	本学	学生7名、職員3名
1/12	医療法人大社会地域活動支援センター 「ベルベッキオ」との交流イベント実施	本学	学生11名、教職員3名
2/16	「未来をひらく～3.11から～」 埼玉県防災学習センター・実行委員と連携して実施	埼玉県防災学習センター	学生13名、職員2名
2/18	防災ミニ授業の実施	埼玉県立日高特別支援学校	学生12名、教職員1名
3/11	「東日本大震災を覚える集い」開催	本学	学生・教職員 約20名
3/11	SAVE×「未来をひらく～3.11から～」 実行委員会×聖学院中高生徒会合同募金 in 大宮	大宮駅	1大学1高校16名 (内聖大11名)
3/12	「2019 東日本大震災から8年 今、僕たちにできること ～知ること・伝えること・風化させないこと～」協力	聖学院中高	学生6名、職員1名
3/17	こども★夢★未来★フェスティバル 2019 ボランティアグループによるブース出展	埼玉県県民活動 総合センター	学生8名

3. 学生サポートメンバー養成講座

学生と共につくる、育つセンターを目指し、2012年のセンター開設時から年1回、「聖学院大学のボランティア活動を盛り上げる」学生コーディネーター養成を目的とした講座を実施。

3. 防災用備蓄倉庫・防災拠点校

上尾市と防災用備蓄倉庫の使用等に関する協定書を交わし、2009年より毛布、担架、発電機など非常用の備蓄品を本学倉庫に設置している。

また2012年には災害時における防災拠点校の使用に関する覚書を交わした。

4. 避難施設の指定について同意

本学は埼玉県、国民保護法第148条1項に指定する避難施設の指定について、2011年に同意をした。

5. 避難所開設訓練

聖学院大学は災害が起きた場合の上尾地区住民の避難場所となっている。(2015年度より)年数回の上尾市・上尾地区の方と災害時避難所開設の打合せ、年1回上尾市・戸崎地区の方と避難所開設訓練を実施している。